

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

光と電子を高度な技術で融合させ、画期的な製品を世界に出す。Only OneでGlobalなトップクラスの自動認識企業を目指す。

② 中長期の経営戦略

1. 高付加価値製品開発

エッジAI活用マシンビジョン技術の開発強化。スキャナ製品の開発・販売強化。ハイエンド領域への注力で競争優位を確立。

2. 海外事業の構造改革

グループ全体売上高過半を占める海外事業について、Acer Inc.及びEsquare Capitalと協力。

3. 生産体制の効率化

自社工場の生産ライン自動化への成長投資。効率的かつ安定的な生産体制の構築で競争力を高める。

4. 財務基盤の強化

有利子負債の圧縮を計画。資本バッファの構築による安定的な財務基盤確立と成長資金調達余力の確保。

③ 対処すべき課題

① 海外事業の収益性低下

- ・ 海外事業における開発や管理の業務効率化で人員規模の適正化を推進
- ・ 新製品開発投資及び関連投資を実施し競争力を強化
- ・ プロダクトマネジメント等各機能を強化し収益性改善を実現

② 財務基盤の不安定性

- ・ 3期連続営業損失を計上しており投資の制約が生じている
- ・ 連結有利子負債の割合が高い水準にある
- ・ 日本エイサーとEsquare Visionへの第三者割当で資金調達し有利子負債を圧縮

③ 自動認識業界の競争激化

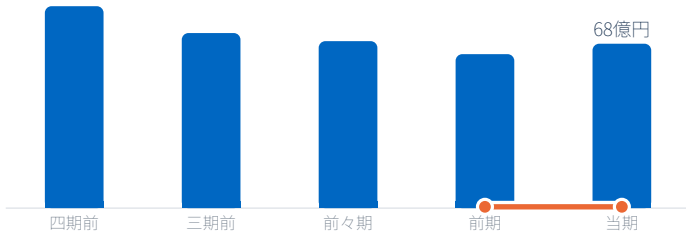
- ・ 製品性能・機能における技術革新が加速している
- ・ 2次元製品の安価領域で価格競争が激しくハイエンド領域に注力必要
- ・ エッジAIを活用した技術開発強化で競争優位性を確立

面接で使えるポイント

- ・ 光と電子の融合技術を世界に発信し、自動認識業界トップクラスを目指す企業理念
- ・ エッジAI技術やマシンビジョン開発を加速し、ハイエンド領域で競争力を強化する戦略
- ・ 3期連続営業損失から脱却するため、Acer Inc.等との協力で海外事業基盤を強化する取組み

証券コード 6664

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
68億円営業利益率
▲3.8%財務健康度
21点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 39.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
599万円
電気機器内 183位/225社平均年齢
48.05歳
電気機器内 21位/225社平均勤続
12.5年
電気機器内 181位/225社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

